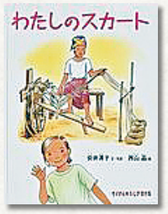
今月のテーマ展示「戦争パネル展」

●日にち
8月11日(金)～15日(火)

●場所＝図書館２階会議室
戦争についての資料や写真パネルを展示しています。どなたでもご覧いただけます。

「わたしのスカート」

安井 清子／文・写真
西山 晶／絵



ラオスの山に暮らすモン族の女の子・マイは、初めて民族衣装のスカートを作ります。麻の種をまき、糸を織り、布を染め…。ラオス・モン族の美しい刺しゅうのスカート作りの様子を伝えます。

「はーばーらいと」

吉本 ばなな／著

「彼女を好きだったのかもしれない」と本気で思った。でも、彼女はもうこの町にいない――。信仰と自由、初恋と友情、決別と回復。淡々と歌うように生きるさまが誰かを救う、書き下ろし小説。

図書館に行こう Books

●串間市立図書館
☎72-1177
●開館＝午前10時～午後６時
●休館日＝毎週月曜日
●ＨＰ＝https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html

新刊情報

パション（川越 宗一／著）
百年の藍（増山 実／著）
あなたの燃える左手で（朝比奈 秋／著）
アリアドネの声（井上 真偽／著）
歩く亡者（三津田 信三／著）
家康の選択（鈴木 輝一郎／著）
一日署長（大倉 崇裕／著）
うるうの朝顔（水庭 れん／著）
オーグメンテッド・スカイ（藤井 太洋／著）

夏休みイベント情報

①お化け屋敷&こわいおはなし会
●日にち＝８月４日（金）
●時間＝午後６時～午後７時
●定員＝20組（要申し込み）
小さなお子さんは保護者同伴
●場所＝図書館

②くしまの企業見学ツアー
●日にち＝８月９日（水）
●時間＝午前９時半～午後３時
●参加料＝1,000円（昼食代含む）
●年齢＝小学生～大人（要申し込み）
（低学年は保護者同伴）

③戦争パネル展　８月11日（金）～15日（火）※14日（月）は休館日のためお休み

地域集落支援員の紹介

市木地区 集落支援員
佐藤（さとう） 明子（あきこ）

●自己紹介

宮崎に来て23年、市木の入り人となって7年目です。２００２年に初めて幸島を訪れて市木の浜に立ちました。ここに住めたらいいなと思ったことを鮮明に覚えています。

２００９年に初めて地域おこしの仕事に関わりました。そこで出会った方々が生き生きと活動されている姿がとてもすてきで、この分野で働きたいと思いました。そこから、いろいろな立場で地域おこし事業に関わってきました。

●これまでに担当地区で取り組んできたことなど

地域連携を本格的に進めるために配属されました。地域主導で地域の課題を解決していくために、地域連携組織を立ち上げ、その事務局を担うというものです。いきいきサロンや健康体操に参加させていただくうちに、少しずつ顔を覚えてもらい打ち解けて話せるようになりました。普段の生活の中にある、ちょっとした困り事を気軽に話してもらえるようになりたいと思いやってきました。

地域連携の仕組みづくりは、県のワークショップ事業を活用しながら市木での課題の集約をし、10年先まで考えた活動計画ができあがりました。「絆の里いちき」の本組織が去年立ち上がり、「買い物支援バス」や「防災のつどい」「安全運転講習会」などを実施しながら、ゆっくりですが地道な活動を進めています。

●これから取り組みたいこと、目指す将来像

「地域で気軽に集まれる場所がほしい」という声、「市木の美しい自然や貴重な歴史を残したい」という思い。忘れがちな市木の宝を残していくことも「絆の里いちき」では考えています。移動支援、独居高齢者の見守りなど早急に取り組まなければならない課題は多いですが、子育て世代の課題も見過ごせないと考えています。

●結びに一言

少子高齢化は日本中どこも同じ課題を抱えています。いろいろな場所でさまざまな方法で課題と向き合いながら活動をしています。市木の人財が生かされるように、できることを見つけていきたいと思います。

PICK UP! 串間（くしま）

8月26日開催!!
串間の夏の風物詩「都井岬火まつり」

今回は、火まつりをより楽しむため、
火まつりをちょっと深堀りして
ご紹介します！

Q1 火まつりって何の祭りなの？

はるか昔、この都井岬の地にいた衛徳坊（えいとくぼう）というお坊さんが、人々に悪さをしていた大蛇を火攻めにして退治したという言い伝えがあります。

その大蛇退治の様子を再現、衛徳坊の偉業をたたえると共に、豊作と明月を祝うことにしたものが「都井岬火まつり」です。

Q2 衛徳坊ってどんな人？

密教を信仰していた修験者ではないかと推測されますが、実は、はっきりとした史料が実在しておらず、実在の人物かどうか定かではありません。ところが、都井で衛徳坊のものとされる石像が最近発見されています。

Q3 いつから行われているの？

今年で57回を迎える都井岬火まつり。実は、そのはるか昔から「宮原地区十五夜柱松」として行われていました。都井岬で行われるようになってから57回目だそう。都井岬の前は、都井小学校運動場の東側に２つの川が合流する地点があり、そのすぐそばの田んぼで行われていました。

Q4 たいまつについて教えて！

大蛇に見立てた、全長約30メートルの神木めがけて投げ入れるたいまつ。このたいまつは、勢子（せこ）と呼ばれる人が自ら作ります。たいまつを投げる際は、「トントコトッテ　エイトクボウヤ」と掛け声を出しています。「とうとう討ち取った　衛徳坊や」という意味です。観客の皆さんも一緒に掛け声を出して盛り上げてください！

Q5 ツトに入ると良いことがあるの？

たいまつをツト（大蛇の口を表したもの）に投げ入れた勢子さんには福が訪れるといわれています。

Q6 火まつりの見どころは？

なんといっても、都井岬の夜空をたいまつが飛び交う様子は幻想的！ツトの中には、花火が仕掛けられており、たいまつが入ると大蛇の血潮のように火花が弾けます。

第57回　都井岬 火まつり
日にち：８月26日（土）　※雨天の場合は翌日27日（日）